

「野の花の丘便り」8月中旬

祭りのあと

オリンピックも終わり、祭りの後のけだるさを感じます。今年は稀に見る長く暑い夏でした。あまりの暑さに「なんにもかも暑さの過ぎてからのこと」と何事も先送りの状況でした。やっと涼しくなってきましたが、まだ暑さの後遺症でシャキッとしません。

野の花の丘の花の盛りは過ぎて、今は秋の七草のオミナエシやキンミズヒキ、エゾノコンギクなどが咲いています。今年は主役の花たちも脇役の花たちも成長がよく元気に沢山咲きましたが、オトコエシ、エゾミソハギ、カワミドリはほとんど見えなくなりました。

それなのにあの厄介者のセイタカアワダチソウの黄色い花は今年も元気にはびこっています。まさに「憎まれっ子世に憚る」、なんとかなりませんかね。

秋の気配が漂う野の花の丘



セイタカアワダチソウ